

総合学習指導案

田村希 矢野智史

1, 日時 2000年12月6日(水)第4限 11:35~12:20

2, 学年学級 6年生3組(24名)

3, 場所 ランチルーム

4, 単元名 大地のでき方

5, 単元目標

大地のでき方について関心を持って調べたり確かめたりすることができるようにする。

特徴的な火成岩と堆積岩の作りを調べて、粒の様子などに違いがあることに気付く。

地層や岩石、化石の観察から、過去に起こった変化を、長い時間の経過や空間の広がりの中で、推測する。

観察したことや、調べたことを、効果的な方法を使って、まとめ、表現する。

6, 単元について

この単元のベースには理科の「大地をさぐる」がある。それでは、この「大地」の学習の「どの部分」をもって総合学習というのか、ということを考えながら展開していった。

まず、子どもたちの興味関心をより引き出すために、導入に大阪市立大学の三田村先生に来ていただいた。大阪のこの地面の下にはどんな地層があるのかを問題提起してもらい、ボーリング資料を実際にさわらせてもらったりしながら、私たちのくらしのすぐ近くにある「地層」に子どもたちは思いを馳せていった。

そして三田村先生と一緒に六甲山系の甲山へフィールドワークに出かけた。あいにくの雨だったが、普段は何気なく見落としがちな地層を三田村先生にいていねいに説明していただき、子どもたちは地層だけでなく、断層や、花崗岩などの岩石、化石などまでに興味をもって帰路につくことができた。

次に、子どもそれぞれが5つのグループに分かれ(地層・岩石・化石・火山・地震断層)、インターネット検索を生かして調べたい事柄についての知識をふくらませ、研究テーマを比較的自由的な大きな枠で自己選択していった。その課題解決の手法として、三田村先生からのいていねいなそれぞれのグループへのアドバイスも考慮に入れながら、実験をしたり、更にインターネット検索で調べたり、E-mailを使って質問したり、有志で休日にフィールドワークに出かけたりした。そして、それをまとめ、発信していく手だてとして、ヒロシマ修学旅行でもやった「ホームページ作り」を位置づけた。

理科をベースにした総合学習として、子どもたちが自分たちで設定した課題に対して、いろんな手法で、様々な工夫をこらしながら解決し、発展的に学習していくそのプロセスを大切にしたい。学習を進めていく上で、なかには、つたない実験や、子どもが思ったような結果や、調べたことがうまくまとまらないグループもあったが、T.Tや、5つのグループごとに分担して指導する授業形態をいかして、工夫して指導助言していった。

7, 指導計画 (全 24 時間)

オリエンテーション (2h)
 講師：三田村先生

- ・屋上から周りを眺めて、山と平野があることに気づかせる。
- ・大阪の断面図を渡し、地面の下がどうなっているのかを、ワークシートに書き込ませる。
- ・ボーリングのサンプルを見せてもらい、実際にさわったりしながら地面の下がいろいろな地層に分かれていることに気付く。

フィールドワーク (終日)

- ・仁川自然植物園、甲山周辺の地層を実際に観察する。
- ・三田村先生から話を聞く中で、地層のでき方や化石や岩石に対する興味・関心を引き出す。

フィールドワークのまとめ (1h)

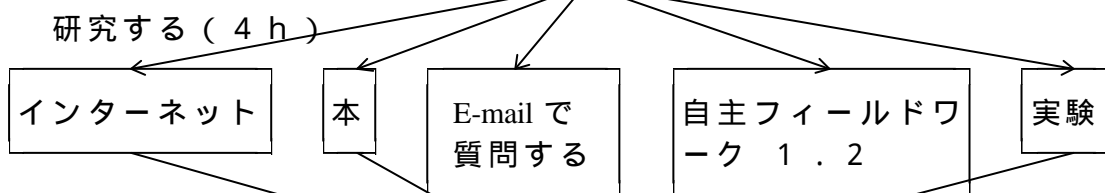
- ・フィールドワークで分かったことを交流する中で疑問に思ったこと・もっと調べたいと思ったことなどを考える。
- ・そのことをもとに以下のグループに分かれる。

地層	岩石	化石	火山	地震断層
----	----	----	----	------

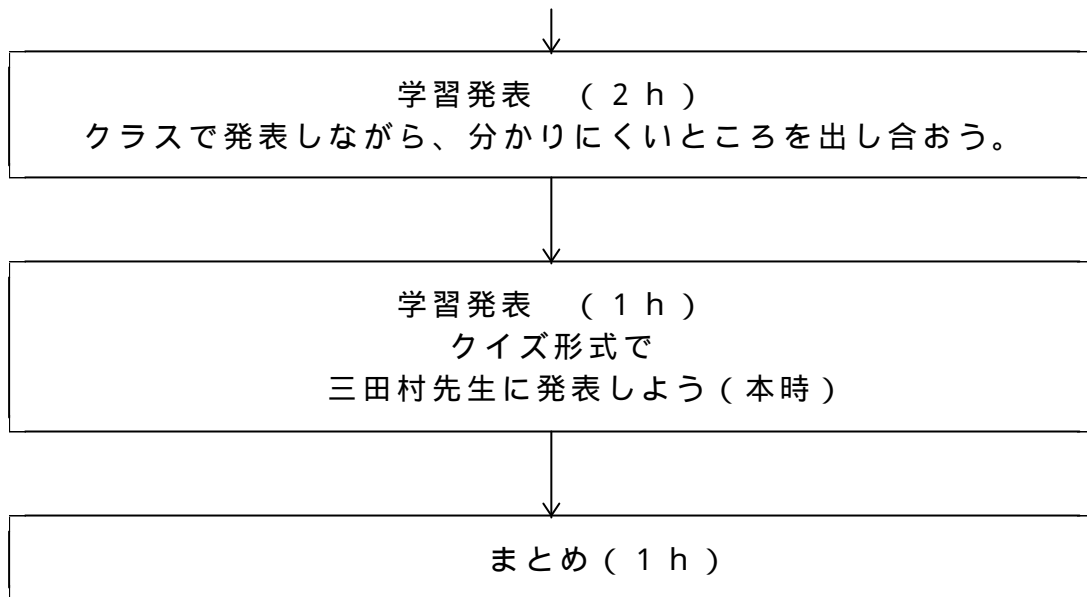
グループ別調べ学習 (2h)
 パソコン・インターネット検索を使って

研究課題ごとに小グループに分ける (1~3人) (2h)
 グループ別調べ学習のまとめ

- ・調べたことを交流した上で、グループをさらに2~3人組にし、より明確なテーマを持たせる。
- ・そのテーマをどのような方法で調べていくのかという手立てを考える。



ホームページ作成 (4h)



7 , 本時の展開

学習活動	支援活動・留意点
<p>作成した HP が答になるような、クイズを出し合って、みんなにもっと自分が調べたことを知ってもらおう。 三田村先生にも、付け足して説明してもらおう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>発表の流れ 前時考えたグループごとのクイズを発表する。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">みんなに聞く</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">あてて答えてもらう</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">正解を HP で発表する</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">三田村先生にひとこといただく</p> </div> <p>発表が終わったら、この学習で良かったことを一言発表しよう。</p> <p>三田村先生に最後にもう一言言ってもらおう。</p>	<p>・三田村先生をお願いしておく。</p> <p>地層 岩石 化石 火山 地震断層の順に発表させる。</p> <p>・支援者からも一言まとめて次につなげる。</p>

前時の展開 於ランチルーム

学習活動	支援活動
<p>きのう発表したHPの中に解答があるようなクイズを作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずはHPづくりのメンバーで一問考えさせ、それを5グループ単位で集まって一問決めさせる。 <p>問題が決まったら分担をして、発表の練習をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマ紹介をした後クイズを読む人() () ・解答HPを発表する人() () ・司会(始めの合図をしたり、手を挙げている人をあてる人)() <p>発表の練習をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのHP毎に一問作らせ、全員に意欲を持たせ作業させる。 ・T1(担任)が司会とクイズ出題の段取りをしT2(矢野)が解答HP発表の段取りにつく。

8 , 本時の展開

学習活動	支援活動・留意点
<p>作成したHPが答になるような、クイズを出し合って、みんなにもっと自分が調べたことを知ってもらおう。</p> <p>三田村先生の話聞く</p> <p>各グループで発表する。 三田村先生のコメントを聞く。 (この流れで、後のグループも発表する)</p> <p>まとめる</p>	<p>準備物： パソコン・プロジェクター 実験道具 各班の問題用紙(三折用紙)</p>